FASF

（議事要旨）サステナビリティ基準委員会の活動状況について

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）の川西委員長より、SSBJ の活動状況について説明が行われた。これについて、主に次に関する質疑応答が行われた。

- 「SASB スタンダード」の利用に関する“shall consider”の解釈が ISSB 関係者から示されたことの受けとめ
- SASB スタンダードの修正の頻度や今後の修正の可能性
- 産業別開示基準への SSBJ の対応
- IFRS S2 基準修正に関連する SSBJ 基準の改正
- 温室効果ガス（GHG）プロトコルの改正の動向
- 欧州におけるオムニバス法案の欧州議会における否決を受けた欧州サステナビリティ報告基準（ESRS）の改訂の動向

また、サステナビリティ基準諮問会議の委員より、次の意見が聞かれた。

（SASB スタンダードの利用に関する“shall consider”の解釈）

- 9 月のサステナビリティ基準アドバイザリー・フォーラム（SSAF）で Sue Lloyd ISSB 副議長から“shall consider”の解釈が示されたと理解している。実務で関心が寄せられている分野であり、SSBJ ハンドブックで明らかにしていくとの方向性は重要と考える。また、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）においても、教育的資料等で同様の対応が行われることが望ましいと考える。

（ISSB 公開草案「『SASB スタンダード』の修正案」への対応）

- ISSB が過度に「SASB スタンダード」にリソースを割きすぎて、生物多様性や人的資本の検討がおろそかになっているのではないかと考えており、対応の根本的な見直しが必要と感じている。
- 当社は複数セクターに跨るケースであるが、それぞれのセクターで重複する人的資本の開示について、セクターごとに微妙に表現が異なる場合があり、問題を感じている。ISSB に対して共通部分の表現を揃えるような継続的な働きかけを SSBJ にお願いしたい。
- ISSB において基準開発を進めている生物多様性や人的資本開示の基準化には、かなりの時間を要すると見込まれているため、「SASB スタンダード」の向上自体も重要と考えられる。また、産業別開示の開発を求める意見発信をしていくことも重要だと考えている。

（IFRS S2 基準修正に関連する SSBJ 基準の改正）

- IFRS S2 号「気候関連開示」の修正において、SSBJ を始めとする関係者の働きかけを受けて、「世界産業分類基準」（GICS）を頂点とするヒエラルキーの見直しが進んでいることを喜ばしく思っている。これを受けた、SSBJ におけるサステナビリティ開示テーマ別基準第 2 号「気候関連開示基準」の改正に関する議論の中で、産業分類の分類数の目安を設けてはどうかとの意見があったと聞いている。この点、ISSB 基準では規範的にならないように議論が進んでいると理解していること、及び、現時点では関係者間で明確な目安が形成できているとは言い難いことから、数値的な基準は明記しない方向が望ましいと考える。

（SSBJ 基準の導入支援）

- SSBJ ハンドブックは、有価証券報告書の具体的な記載の検討において、非常に有益と感じている。ハンドブックの全体が 1 ファイルにまとまっていると検索に便利であるため、検討していただきたい。

- 各法域が ISSB 基準を採用する中では、法域の特性に応じて読みかえを行っている、構造を変更している可能性も考えられるため、各法域で採用されている ISSB 基準と SSBJ 基準の差分に関する情報を共有する仕組みがあると有益である。

- 日本証券アナリスト協会では 2023 年から ISSB 基準セミナーシリーズという動画配信を行っており、2025 年 7 月に全 9 本の配信を完了した。本セミナーシリーズの主な対象はアナリスト・投資家であり、サステナビリティ開示情報の事業分析・投資判断への活用を支援することを目的としている。しかし、配信の内容は作成者や監査人にとっても有益と考えられ、SSBJ 基準の導入支援として活用されることを期待している。

（その他）

- SSAF の任期が満了したとの点については、日本の基準設定主体として SSBJ が引き続きメンバーとして参加し、活躍することを期待している。

- サステナビリティ開示については、将来的には SSBJ で開発された基準が金融庁に告示指定され、運用されていくことがあるべき姿と考える。金融審議会のサステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループにおいて、その方向性が確認されつつあるものの、現行の「企業内容等の開示に関する内閣府令」の定めが関係して複雑になる可能性がある。SSBJ 基準に一本化する方向で進むことを期待する。

以　上